

7月豪雨災害に係る 住民アンケート結果

住民アンケートの実施概要

■ 調査方法
郵送調査

■ 調査期間
平成30年12月18日～平成30年12月28日

■ 設問数
12問

■ 配布数及び回収数

市町名	配布	回収
今治市	75件	40件
八幡浜市	164件	104件
大洲市	557件	300件
松野町	201件	99件
鬼北町	51件	27件
合計	1,048件	570件

(回収率 54.4%)

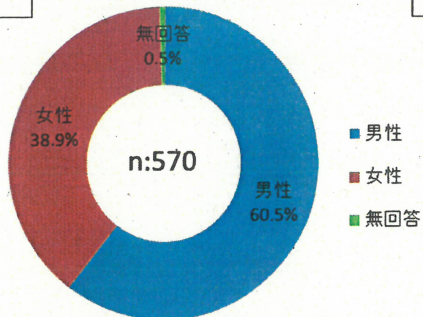
■ 調査対象者
罹災証明発行世帯

※参考で掲載している松山市(愛媛大学防災情報研究センター)、宇和島市、西予市が行ったアンケートの調査対象者は以下の通り

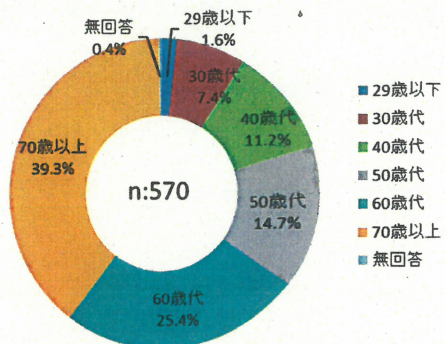
- 松山市(愛媛大学防災情報研究センター)
※資料中は松山市と表記
・高浜地区に居住するすべての世帯
【回収率 44.6%(1,309名/2,938名)】
- 宇和島市
・宇和島市内の罹災証明発行世帯の全数
・自主防災組織代表者及び自治会長の全数
・市民から校区別に無作為抽出した世帯
【回収率 53.1%(2,122名/4,000名)】
- 西予市
・平成30年11月現在で西予市に在住の市民(無作為抽出)
【回収率 38.3%(1,067名/2,785名)】
- 西予市(愛媛大学防災情報研究センター)
※資料中は西予市[愛大]と表記
・西予市野村地区の住民
【回収率 39.4%(316世帯/803世帯)】

アンケート結果<回答者の属性分布①>

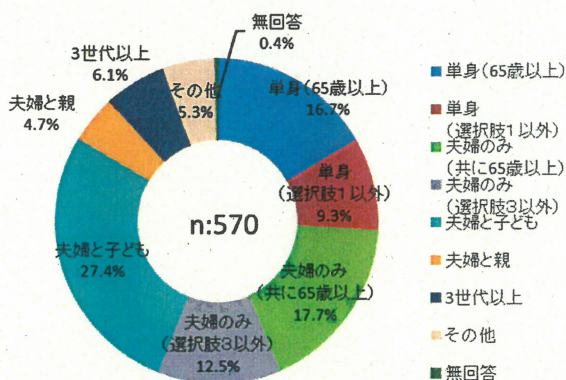
問1 性別



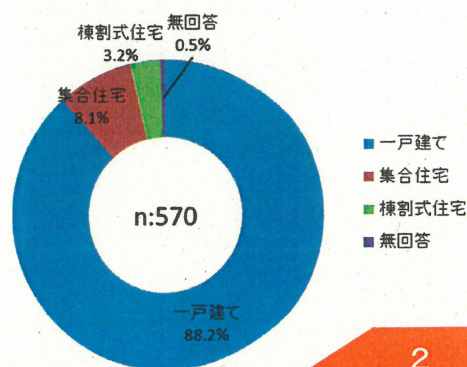
問2 年齢



問3 世帯構成



問5 自宅の構造

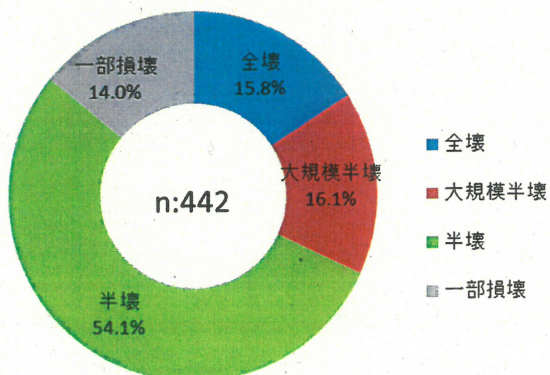


2

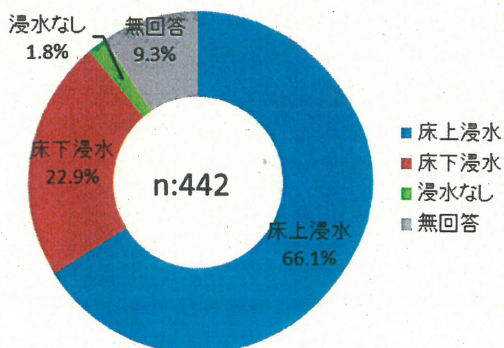
アンケート結果<回答者の属性分布②>

問6 自宅の被害分類と浸水状況

【被害分類】



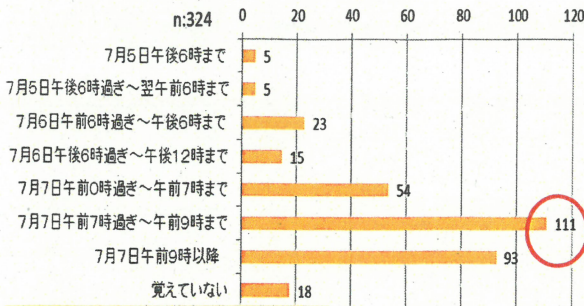
【浸水状況】



3

アンケート結果<避難を開始した日時、理由>

問7 最初に避難を始めた時刻



■最初に避難を開始したのは「7月7日午前7時～午前9時」が一番多く、避難を開始した理由としては「自宅の周辺が浸水したり、土砂が流れたりしていたから」が最も多い。
 >朝になってから、自宅周辺の状況の変化に気づき避難した方が多いことが伺える。

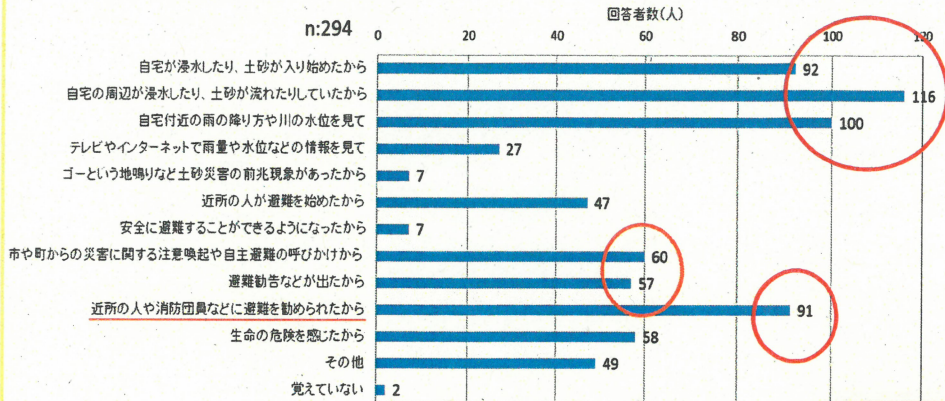
■避難を始めた理由として、近所の人や消防団員などに避難を進められたからという意見も多い。

>こうした身近な人からの呼びかけが避難の際に効果的であったと考えられる。

■市町からの自主避難の呼びかけや避難勧告などと答えた方も多い。

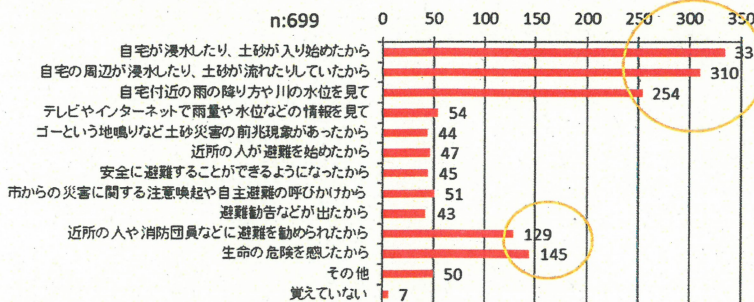
>市町からの避難の呼びかけもや避難勧告等も一定の効果あげている。

問8 避難を始めたきっかけ

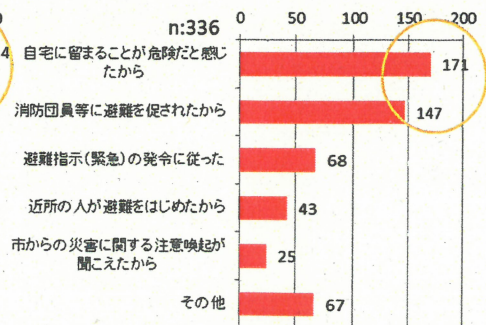


アンケート結果<避難を開始した理由>

(参考)宇和島市



(参考)西予市



【市町毎の住民からの自由意見(抜粋)】

市町名	意見
今治市	・消防団員の方が避難所へ連れて行ってくれた。 ・民生委員から避難を進められたから。
八幡浜市	・土砂災害を目にしたから。 ・警察官からの指示。
大洲市	・玄関先まで水が来たから。 ・親戚に避難するように言われたから。 ・避難指示が出たから。
松野町	・川の水が家の方の道路に流れ始めたから。
鬼北町	・近所の人や消防団員が様子を見に来てくれた。皆が心配してくれたので心強かった。